

わだち

WADACHI

vol. **518**

2025.3

Fukushima Trucking
Association report
福島県トラック協会広報誌

FUKUTORA TOPICS

- 令和6年度
「物流セミナー」を開催
- 女子トラと歴史の
わだちでエトセトラ
(県中エリア)



公益
社団法人

福島県トラック協会

FUKUSHIMA TRUCKING ASSOCIATION

今年は夏にトラックの日
スペシャルマッチ開催決定！
みんなで福島レッドホープスを
応援しよう！！





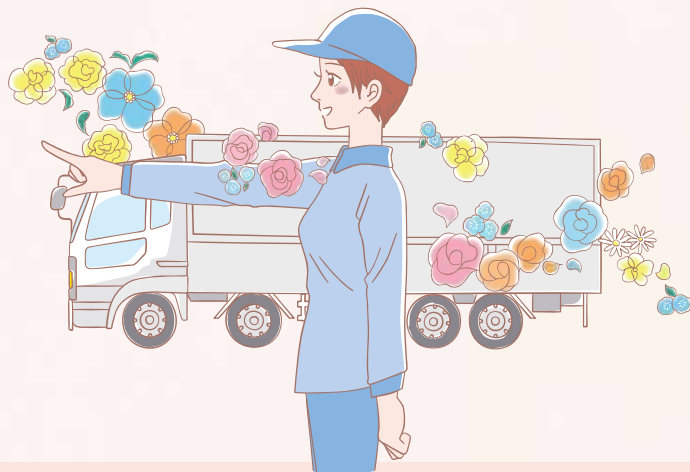
幸せ運びのプロフェッショナルです。



笑顔も、
希望も、
やりがいも積んで。



福島県トラック協会
FUKUSHIMA TRUCKING ASSOCIATION



#女子トラ走る



福島県トラック協会
オフィシャルYouTube公開中



Contents -目次-

県ト協NEWS

関係団体へ年頭のあいさつ	1
令和6年度 第5回理事会	1
2024年度「安全性優良事業所認定証授与式(Gマーク)」を開催	2
令和6年度「標準的な運賃」活用セミナーを開催	3
プラン2025目標達成セミナー ～削減目標達成への取り組み～を開催	3
令和6年度「物流セミナー」を開催	4
引越講習会を開催	4
適正化だより	5
会員だより	5
ダンプトラック部会が関係団体に新年の挨拶	6

ダンプトラック部会が建設資材等のトラック運搬に係る 契約の適正化について要望	6
全ト協青年部会全国大会に参加	6
県ト協女性部会が新年会を開催	6
ふくトラ・インフォメーション	7
支部だより	8
A day in the life ～今活躍している女性たち～	10
コラムわだち	11
女子トラと歴史のわだちでエトセトラ	12
県ト協 SDGs への取り組み	14
陸災防NEWS	15
りんごを活用した広報企画／編集後記	16

お知らせ

交通事故統計

第一当事者が県内居住の事業用貨物車の交通事故発生状況は下記の通りとなります。交通規則を守ることが、社会人としての基本的な責務です。会員事業所におかれましても、プロドライバーとして、より一層の交通安全対策をお願いします。

第一当事者が県内居住の事業用貨物車の交通事故発生状況

		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
2025年(概数)	発生件数	2	2											4
	死者数	0	0											0
	傷者数	3	2											5



よろしく
お願いします！

4つの
心得

交通ルールの遵守

速度の抑制

思いやり運転等交通マナーアップ

交差点での安全確認の励行

関係団体へ年頭のあいさつ

実施日 令和7年1月7日(火) 参加者 佐藤信成会長 他4名

訪問場所 福島労働局、福島運輸支局、福島県自動車会議所、商工中金 福島支店、福島県庁、
福島県警察交通部、福島民友新聞社、福島民報社 ※訪問順

佐藤会長は関係団体へ年頭のあいさつを行った。トラック運送業界における当面の諸課題、特に「物流の2024年問題」の解決に向け、国に対する制度改善要望と「標準的な運賃」制度を前面に押し出した中での荷主企業に対する要請行動などを全日本トラック協会と連携して実施して行きたいと述べ、トラック運送業界への支援及び協力について改めて要請した。



福島県庁訪問の様子

令和6年度 第5回理事会

開催日 令和7年1月27日(月) 参加理事 25名 参加監事 3名

場所 郡山市 ビックパレットふくしま

報告事項

報告事項の1 令和6年度安全性評価事業所(Gマーク)の認定について
詳細については本誌2頁参照。

報告事項の2 令和6年度各種助成事業執行状況について

報告事項の3 トラックの日事業
「ファイヤーボンズ冠試合」について
詳細については本誌1月号参照。

報告事項の4 令和6年度年末年始安全総点検表
(自動車輸送関係)集計結果報告について
回答事業者数:833社 回答率:67.4%

報告事項の5 車輪脱落防止後付け器具取付
実証調査について

報告事項の6 自民党令和7年度
政府予算対策要望活動への参加について

報告事項の7 「重点支援地方交付金」による
支援要請行動について

報告事項の8 「令和6年度事故防止決起大会」の
実施について
詳細については本誌1月号参照。

議 題

第1号議案 入会会員及び退会会員について
1社の入会、4社の退会が可決された。
【承認後会員数1,216(賛助会員282含む)】

第2号議案 令和7年度定時総会の開催(案)について

第3号議案 令和7年度事業計画骨子(案)について

第4号議案 令和6年度 協会セーフティーチャレンジ
事業の副賞について

第5号議案 改正公益認定法への対応について

第6号議案 福島県交通遺児奨学基金への募金贈呈に
ついて

その他 今後の行事予定について

※第1～6号議案まで原案通り可決。



2024年度「安全性優良事業所認定証授与式(Gマーク)」を開催

開催日 令和7年1月16日(木) **場 所** 福島市 福島県トラック協会研修センター

参加者 福島県適正化事業実施機関 佐藤信成 実施本部長 ほかに認定事業所6社
 信陵建設(株)本社営業所、東北新開(株)郡山営業所、(株)ロジコム・アイ福島営業所
 藤田通運(株)本社営業所、アスロード物流(株)郡山営業所、(有)三森興産福島支店

代表授与者 信陵建設(株) 本社営業所 代表取締役 斎藤 孝裕 氏

本年度認定事業所 141社 (新規・更新) **県内認定事業所数** 555社 ※本年度含む



佐藤信成実施本部長は新規に認定を受けた中から、審査で高い評価を受けた事業所に認定証を交付した。これを受け、信陵建設(株) 斎藤氏が代表者決意表明を行い、「Gマーク制度の重要性を再認識し、安心・安全な輸送第一に優良事業所として更なる資質向上を目指す」と宣言した。

なお、昨年度より6回目の更新を迎える事業所を対象に「長期認定取得事業所」が創設され、20年にわたって積み上げた安全運行の実績に敬意を表し、新たにデザインした「ゴールドGマーク」ステッカーを使用が可能となる。今回の更新では長期認定取得事業所として県内23事業所が対象となった。



認定を授与される斎藤氏



佐藤信成本部長と参加事業所代表

2024 年度 新規認定事業所 (16 社)

千代田産業有限会社 本社営業所	有限会社三森興産 福島支店
千代田産業有限会社 相馬営業所	千野運輸株式会社 福島
アーク引越センター株式会社 郡山支店	株式会社サカイ引越センター いわき支社
東北新開株式会社 郡山営業所	いわき大王紙運輸株式会社 本社
小野運輸株式会社 本社営業所	株式会社伊達重機 本社営業所
ケーエルエス株式会社 本社営業所	アスロード物流株式会社 郡山営業所
株式会社ロジコム・アイ 福島営業所	信陵建設株式会社 本社営業所
藤田通運株式会社 本社営業所	株式会社日東物流 本社営業所 ※非会員

長期認定事業所 (23 社)

会津通商株式会社 本社営業所	佐川急便株式会社 福島営業所
佐川急便株式会社 いわき営業所	磐城通運株式会社 湯本支店
丸永運送株式会社 本社営業所	名鉄運輸株式会社 郡山支店
近物レックス株式会社 福島	磐城通運株式会社 小名浜支店自動車ターミナル
エービーカーゴ東日本株式会社 福島	NXキャッシュ・ロジスティクス株式会社 郡山センター
有限会社さくら運輸 郡山営業所	日本通運株式会社 相馬海運支店海運課
磐城通運株式会社 植田支店	日本通運株式会社 白河国際輸送課
斎藤運輸株式会社 本社	東北乳運株式会社 福島
柏洋運輸株式会社 本社営業所	日本図書輸送株式会社 福島
名鉄運輸株式会社 福島支店	いわき建設運輸有限公司 本社
日本通運株式会社 福島ロジスティクス事業所	いわき建設運輸有限公司 大剣
クレハ運輸トラック株式会社 いわきセンター	



令和6年度「標準的な運賃」活用セミナーを開催

開催日 令和7年2月19日(水) 場所 郡山市 県中研修センター 参加者 85名

- 講演内容
- 新しい「標準的な運賃」告示(令和6年3月告示)の概要
 - 新しい「標準的な運賃」の活用
 - 物価高、燃料高、人材不足を反映した運賃・料金の設計
 - 荷主との運賃交渉
 - 新・標準貨物自動車運送約款について ほか

講師 日本PMIコンサルティング(株) 代表取締役 小坂 真弘 氏

令和6年度は、荷主との運賃交渉によりドライバーの働き方改革を実現し、持続可能な輸送を維持するため、令和6年3月に告示された「新しい標準的な運賃」の活用を目的に開催された。

セミナーは原価計算や独自の運賃表の作成、荷主等に対するの申入れ・交渉等の内容で進められた。



プラン2025目標達成セミナー～削減目標達成への取り組み～を開催

開催日 令和6年12月13日(金) 場所 郡山市 県中研修センター 参加者 34名

講師 SOMPOリスクマネジメント株式会社 モビリティコンサルティング部 蒲生 めぐみ 氏

全日本トラック協会では、「トラック事業における総合安全プラン2025」を策定し、令和7年度(2025年)までの事故削減に係る目標値を「事業用トラックを第一当事者とする死者数・重傷者数の合計970人以下/飲酒運転事故件数ゼロ」と定め、様々な取組を行っている。

本セミナーは、この目標値の達成に向けた福島県トラック協会の取組の一環として開催した。前半は、最新情報を踏まえた交通事故防止対策についての講演が行われた。後半のグループディスカッションでは、参加者はグループに分かれ、各社の追突事故・交差点事故防止に関する取組についての意見交換・発表を行った。



令和6年度「物流セミナー」を開催

開催日 令和7年1月27日(月) **場 所** 郡山市 ビッグパレットふくしま

参加者 165名(荷主企業42名 事業者100名)、その他(来賓、事務局等23名)

講 演 演題：「トラック運送業界の現状と諸課題ならびに持続可能な物流構築に向けて」
講師：物流ジャーナリスト 森田 富士夫 氏

荷主企業と運送事業者で認識を共有し、パートナーシップを構築することを目的に、福島県トラック協会会員事業者と荷主企業が参加し、物流セミナーが開催された。

はじめに佐藤信成会長が「高速代、付帯作業、荷待ち時間を含めて適正運賃の収受に向けて取り引きのある荷主企業などへお願いし、運送業界を盛り上げていただきたい」とあいさつした。

講演では森田氏が物流の2024年問題を中心に現状と課題、2024年問題の解決や原資(標準的運賃)の確保のポイントを説明した。

また、出席者には女性向けPR事業のキャンペーンの一環として作成した福島県トラック協会オリジナルスペシャルティコーヒーが提供され、会場はコーヒーの香りに包まれた。



引越講習会を開催

開催日 引越基本講習：令和7年2月6日(木)
引越管理者講習：令和7年2月7日(金)

場 所 郡山市 県中研修センター

講 師 全日本トラック協会 輸送事業部 柴崎 健一



参加者は、基本講習では、引越業界の現状や標準引越運送約款等について学んだ。

また、管理者講習では、契約時の説明不足による料金トラブル、荷物の破損や紛失に関するクレームなど、具体的なケースをもとに、未然に防ぐポイントや適切な対応方法を学んだ。





整備管理者等研修手帳の「廃止」について

整備管理者選任前研修の際に配布していた「整備管理者等研修手帳」の発行が令和7年度から廃止されますのでご案内いたします。

今後は受講票に押印された確認印が受講証明となりますので、受講票の保管をお願いします。

また、巡回指導の際、整備管理者選任後研修未受講のケースが多くみられることから改めて研修制度についてご案内いたします。

整備管理者の研修に関するおさらい

①整備管理者選任前研修とは

実務経験（2年以上）をもとに整備管理者になるための研修です。

過去に修了された方や自動車整備士資格（1～3級）をお持ちの方は受講不要です。

②整備管理者選任後研修とは

新たに選任されたまたは備管理者に選任されている方が対象となります。選任された翌年度末日までに1回以上、以降2年ごとに研修を受講する必要があります。



適正化事業部 遠藤

サンプル

福島県運輸支局 令和6年度整備管理者選任後研修

受講票

受講番号： _____

氏名： _____

生年月日： _____

事業所名： _____

代表者名： _____

電話番号： _____

住所： _____

研修科目： _____

受講日： _____

受講時間： _____

受講料： _____

受講票の発行は、本受講票を2部提出し、1部には運輸支局保管のコピーを貼付したものを交付へ提出してください。

研修終了後、受講確認印を押印したものを1部お返しします。

交付の際に座席表にご案内いたしますので、本受講票をお持ちになって案内された座席にて研修開始時刻までお待ちください。

受講票でなくなった場合には、速やかにその旨を本局までお知らせください。

（印刷先：02-24-99-9999 印刷所：デザイン工房）

車庫と支店使用（受講者の方は記入しないでください）

交付・保管印

交付印

ここに押印された受講票を保管してください



会員事業所の最新情報



新規入会事業所

支部	店・社名	代表者名	郵便番号	住所	車両台数
県北	(株) Bonds	佐藤 隆雄	960-0686	伊達市保原町字竹内町 61- 3	5



ダンプトラック部会が関係団体に新年の挨拶

開催日 令和7年1月14日(火) **参加者** 伊藤浩一部会長、松尾活秀副部会長、小林一義副部会長、田母神専務理事
訪問先 環境省福島地方環境事務所 輸送課、福島県 生活環境部 中間貯蔵・除染対策課、
 福島県 土木部 技術管理課、(一社)福島県建設業協会、(一社)福島県産業資源循環協会、
 国土交通省東北地方整備局福島河川国道事務所 (訪問順に掲載)

新年の挨拶として上記団体を訪問し、災害が増加する中で、ダンプトラックならではの特有の機能を活かし、
 て災害が起こった時には協力したい旨を伝え、同時に公共工事などでの営業用ダンプトラックの優先使用をお
 願いした。

詳細については右のQRからご確認ください▶



ダンプトラック部会が建設資材等のトラック運搬に係る契約の適正化について要望

開催日 令和7年2月3日(月) **参加者** 伊藤浩一部会長、松尾活秀副部会長、小林一義副部会長、田母神専務理事
訪問先 福島県 土木部 技術管理課、国土交通省東北地方整備局福島河川国道事務所、
 (一社)福島県建設業協会 (訪問順に掲載)

要望活動として上記団体を訪問し、ダンプトラック事業者が持続的かつ健全な財政基盤を築けるよう、公共工
 事等において、「建設資材等のトラック運搬に係る契約の適正化について」の内容が徹底されるとともに、実運送
 事業者「標準的な運賃」が適正に支払われるよう理解と協力を求めた。

詳細については右のQRからご確認ください▶



全ト協青年部会全国大会に参加

開催日時 令和7年2月14日(金) 14:00~17:15 **場 所** 東京都新宿区 京王プラザホテル
参加者 約700名(福島県からは8名が参加)



令和6年度(公社)全日本トラック協会青年部会全国大会は大会テーマを「絆を
 かたちにして共に描く物流の未来～」として開催され、福島県から8名が参加した。

大会では来賓あいさつに続き、「青年経営者等による先進的な事業取組に対する
 顕彰」に係る授与式及び受賞者による事業発表、青年部会活動報告が行われた。

また、研修には藤原和博氏を講師に招き、「AI時代の戦略的「モードチェンジ」の
 すすめ」と題した講演が行われた。

県ト協女性部会が新年会を開催

開催日 令和7年2月10日(月) **場 所** 郡山市 郡山ビューホテルアネックス
参加者 20名

女性部部会長(永山忍部会長)は、部会員同士の親睦を深め、情報
 交換により今後の事業発展に繋げるため新年会を開催した。

昨年の活動を振り返り、今後の活動について話し合った後は、美味
 しい料理を食べ、和気あいあいとした雰囲気の中交流を深めた。



今年は11月14日に福島県郡山市で
 全ト協女性部会東北ブロック研修会を開催。
 女性部会の皆さん、ご参加お待ちしております。

ふくトラ・インフォメーション



助成事業冊子(紙媒体)配布の終了について

県ト協では毎年度、紙媒体での「助成事業冊子」を全会員へ配布しておりましたが、環境保全に配慮したペーパーレス化および電子化による業務効率化を推進するため、令和6年度をもって紙媒体での配布を終了いたします。

令和7年度からは、当協会ホームページで「**電子データのみ掲載**」とさせていただきますので、ご理解賜りますようお願い申し上げます。

協会セーフティチャレンジの当選者発表について

令和6年度「協会セーフティチャレンジ(副賞贈呈・交通事故防止コンクール事業所表彰)」へのご参加ありがとうございました。

福島研修センターにおいて抽選を行い、当選チームが決定しましたのでご案内いたします。当選チームについては右記QRコードからご確認ください。



令和7年度の広報誌「わだち」について

これまで年6回(奇数月)発行しておりました「わだち」の発行回数につきまして、令和7年度より年3回(時期に応じて)の発行とさせていただきます。

発行回数は年3回になりますが、今後も運送業界・トラック協会の魅力が伝わる紙面づくりに努めるとともに、ホームページやSNS等によるタイムリーな情報発信も充実させてまいります。会員の皆様にはご理解賜りますようお願いいたします。



福島県トラック協会
ホームページ



福島県トラック協会
公式X



今年は夏にトラックの日スペシャルマッチ開催決定!! 福島レッドホープスを応援しよう!

県ト協では、今年も地域スポーツを応援する恒例の協賛マッチを開催します!

当日は、熱い試合を、みんなで盛り上げましょう!

試合の詳細やコラボイベントについては、ホームページに掲載されますので、お楽しみに!

地域スポーツとともに盛り上がりましょう!



椎野華蓮じいのかれを選手

若松悠平わかまつゆうへい選手

みんなで応援しよう!

福島を盛り上げていきます!

応援よろしくお願いします!

重田魁士じげたかいし選手

沖(泰司)おきやすし監督



支部だより

各支部の活動をお知らせ



各支部が令和7年「新年行事」を開催

新年を迎え各支部で新年行事が行われた。詳細については下記の通り。

支部名	日時	行事	場所	参加人数
県中	令和7年1月10日(金)	安全祈願祭・賀詞交換会	郡山市 郡山ビューホテルアネックス	71名
県南	令和7年2月7日(金)	安全祈願祭・新年会	石川郡 母畑温泉 八幡屋	53名
会津	令和7年1月18日(土)	第13回安全大会、 優良管理者・優良従業員表彰式	会津若松市 ルネッサンス中の島	45名
相双	令和7年2月8日(土)	安全祈願祭・新年会	安全祈願祭：南相馬市 相馬太田神社 新年会：プライダル&ホテルラフィース	安全祈願祭 26名 新年会 28名
いわき	令和7年1月24日(金)	事故防止講習会と新春セミナー	いわき市 パレス いわや	62名



県中支部



県南支部



会津支部



相双支部



いわき支部

県北支部

福島北警察署が県北支部へ感謝状を授与

開催日 令和6年12月20日(金) 場所 福島市 福島北警察署 出席者 蓬田隆信 県北支部長



県北支部の蓬田隆信支部長が福島北警察署長感謝状贈呈式に出席し感謝状を授与された。この感謝状は令和6年12月4日(水)に10万円を寄付したことによるもの。尚、寄付金は交通事故防止反射材購入資金の一部として活用された。

◀感謝状を授与される蓬田支部長

「第14回 安全大会」を開催

開催日 令和7年3月1日(土) 場所 福島市
参加者 160名
ウィル福島 アクティおろしまち
講演 演題：ドラレコ映像から見る～事故処理におけるヒューマンエラーの傾向と対策～
講師：セーフティー・サポート 代表 渡辺 良祐 氏



県中支部

本宮市へ「緊急支援金」の支援要望

開催日 令和6年12月26日(土)

場所 本宮市役所

参加者 高橋副支部長、川瀬事務局長、横山事務局次長



緊急支援金の要望を行った。

◀左から川瀬事務局長、高橋副支部長、高松本宮市長、横山事務局次長

寄付金を贈呈

開催日 令和7年1月23日(木)

場所 郡山市 郡山警察署

小野田弘明支部長が寄付金を贈呈した。



郡山地区交通安全協会へ交通安全活動基金の贈呈



郡山北地区交通安全協会へ交通安全活動基金の贈呈
(公社)ふくしま被害者支援センターへ被害者支援活動基金の贈呈

相双支部

年末年始における事件事故防止運動に伴う出動式に参加

開催日 令和6年12月10日(火)

参加者 西山由美子、吉田浩美、大谷浩子、鈴木宣子、鈴木左奈恵

場所 富岡総合体育館

令和6年12月10日(火)から令和7年1月7日(火)までの29日間で実施される、「年末年始における事件事故防止運動」の一環として実施されたもので、富岡総合体育館にて出動式が行われ、相双支部女性部会が参加した。



令和6年度 年末事故防止研修会を開催



開催日 令和6年12月14日(土) 参加者 40名

場所 南相馬市 ブライダル&ホテル ラフィーナ

相双支部と陸災防福島県支部相双分会は年末事故防止研修会を開催した。二部構成で講演が行われ、一部では、陸災防福島県支部白井郁事務局長より「荷役作業での労働災害防止」について。二部は(株)エヌジェイアイ健康経営支援事業部、仲田貴之様より、人生100年時代の「貯筋」大作戦というテーマで、講演と健康体操の指導を受けた。

仲田様のユニークな話しぶりと健康体操の指導に参加者は大いに盛り上がった。

いわき支部

「第4回 安全運転ドライバー研修会」を開催

開催日 令和7年1月11日(土)

参加者 21名

場所 いわき市 タイヘイドライバーズスクール



A day in the life

今 活躍している女性たち

vol.04

県内の運送業界で活躍している女性の魅力をご紹介します

今回ご紹介するのは、河沼郡津坂下町に本社がある㈱佐藤商事の佐藤博子さん。主に経理を担当されているので月末月初は、とても忙しくされています。創業当時は経理を学ぶために、お子さんをおんぶしながら、手を引きながら講義を聞きに行っていたそうです。

朝の点呼も担当しています。「運転手の体調の変化を見逃さないように日々のコミュニケーションが大切ですよ」と語る佐藤さん。また、本社前ではシェパードのライフちゃん（女の子10歳）がお客様をお出迎えしてくれます。

休日は、ライフちゃんのお散歩や、お母さんとの日帰り温泉、のんびりコーヒーを飲みながら韓流ドラマを観るのが好きとのこと。佐藤さんの丁寧な話し方や柔らかい雰囲気がとても素敵で会うたびに心が温かくなります♪（矢吹）

お仕事中



毎朝の点呼業務をしています



従業員のみなさんと！



主に経理を担当！



佐藤さん

穴澤さん

頼もしい
事務スタッフ！

休日

ライフちゃん
10歳(女の子)



我が家の癒し系アイドル！

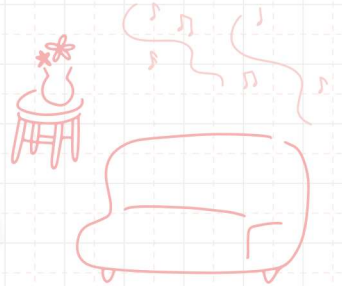
10年前に運命の出会い（家族全員がひとめぼれ）をして迎え入れました。飼主主に忠実でとても賢く優しい女の子です。



ライフちゃんとの
お散歩が日課です



最近は濃い目のコーヒーを飲みながら、のんびり韓流ドラマを観ることが好きです。



佐藤さんより

トラックを1台買い、そこから主人とトラック業界に足を踏み入れることになりました。次第に仕事が増え、仲間も増えるにつれ、みんなを守らなければと気を張り詰めて毎日仕事をしていました。今は経営の第一線からは退き、一歩引いて安心して仕事をしています。

私は、様々な状況でも使命感を持って真剣に業務をこなしているドライバーさんを尊敬しています。これからも少しでも皆さんのお手伝いが出来ればと思っています。

株式会社佐藤商事 佐藤 博子

母と日帰り温泉。
平日はふれあいランド高郷温泉。土日は早戸温泉つるの湯に行くことが多いです。

今回ご紹介出来なかった内容は、トラック協会ホームページに掲載しますので、ぜひご覧ください。

わだち

コラム
vol.11

宇宙人はいるか!?

常磐郵便輸送株式会社 渡部 誠

私が学生の頃、すぐく大人気の授業がありました。その名物講義とは「宇宙人はいるか」。

教授はある方程式を用いて宇宙人のいる確率を導き出しました。「ドレイクの方程式」です。

1961年にアメリカの研究者ドレイクが提案したもので、その方程式は『私たちのいる太陽系が存在する天の川銀河における知的生命体の数』を推定します。

宇宙が誕生して約137億年(267億年の説もあり)、地球誕生が約46億年前、生命の誕生が約35億年前、人類が誕生してから約20万年といわれています。

太陽系がある天の川銀河の端から端まで10万光年。太陽の大きさを直径1cmのビー玉とすると、天の川銀河の直径は680万km! 680万kmというと、地球をおよそ500個並べたくらいの大きさ。銀河系を直径130kmに縮めた場合、太陽系は約2mほどの大きさ。ほかの例では、太陽系の直径が10円玉だとしたら銀河系の直径は約8km(郡山駅から喜久田駅くらい) そんな銀河が宇宙にはざっと数千億個あるといわれています。

『ドレイクの方程式』では次の数字・確率を掛け合わせて計算します。

- A 銀河系恒星の数(太陽のような星) 1年間に銀河系内で誕生する恒星の数
- B 恒星の持つ惑星の数(地球や火星のような星)
- C 生命を生む環境(水があるか・恒星からの距離、近すぎず遠すぎず、熱すぎず寒すぎず)
- D 生命が誕生する確率
- E 誕生した生命が知的生命体まで進化する確率
- F 電波技術文明の確率(電波を使って通信を行う文明)
- G その文明が存続する期間(誕生した文明の寿命)

ドレイクの方程式

CHECK

広報誌わだち コラム応募に関するお知らせ

会員事業者や従業員等の皆様がご自身の経験や知見を自由に発表していただくために、コラムの投稿を広く募集しています。

皆様のとおきのネタを業界仲間と共有してみませんか。



テーマの例について

失敗談やエピソード、業界のあるあるネタ、みんなの共感を呼ぶユニークな提言、趣味や興味ある分野についての紹介等、幅広い話題の記事を歓迎しております。



詳細等についてはホームページにてご確認ください。
質問や疑問がございましたら担当までお気軽にお問い合わせください。

担当 業務部 佐藤 sato_k@fukutora.jp

これらA~Gに、それらしい数字を当てはめていくと、地球と同等、あるいはそれ以上の高度な文明の数は銀河系内には10~1000存在するかもしれない...でも彼らに会える確率? ほぼゼロ? 会えたとしても距離は数千光年...。

結局、地球の生命誕生がどれほど奇跡的かを学びつつ、教授の一言が心に残る。「宇宙人はいらるだろう。でも、会うのは宝くじ一等当選より難しい。」もうかれこれ約30年前の話なので、今の研究ではどうなっているのかわかりませんが、宇宙人はいないという結論にならずよかった。個人的には宇宙戦艦ヤマトのワープが使えたら会えるのかもしれない...と思ってます。

以来、SF映画やアニメを見るたびに、「この設定、意外とあり得るかも」なんて考察し、ひそかにワクワクしながら見えます。

Hi



県中エリアをめぐる

1 安積国造神社神殿(郡山市)

松尾芭蕉の石碑

2 如宝寺、芳山公園(郡山市)

奥州街道、相馬街道、
二本松街道が交差する
県中エリア

建てら
分の豆
ます。
屋やク



県中支部 小野田支部長



女子トラ おすすめ♪

本協会女性部会の渡邊里美さんの案内で、三春町の「ジンギスカンPECO ジェラテリア・マッテオ」と「BRITOMART」を訪れました！

③ ジンギスカンPECO ジェラテリア・マッテオ(三春町)

三春町のさくら湖の近くにある複合施設「三春の里」、その一角に「ジンギスカンPECO ジェラテリア・マッテオ」があります。多角形のテント風な構造に丸太がむき出しの内装、BGMはボサノバというオシャレな店で昼食として(ビールを頼みたい誘惑に打ち勝ちながら…)ジンギスカン定食をいただきました。

畑のフードロスを無くしたいという思いから、ジェラテリア・マッテオのジェラートは出荷前に棄てられてしまう野菜や果実で作られています。

訪問したのは1月下旬でまだ寒い時期だったのですが、須賀川から通っているという店長の溝井さんは、ひざ掛けの毛布を用意してくれるなどとても気さくな方でした。

ぜひ
お越し
ください！

溝井店長

「もったいない」を、おいしさに！
フードロスなジェラートアイス！



④ BRITOMART(三春町)

BRITOMARTは个性的なお店が集まっている施設です。平日にも関わらず駐車場には車が一杯で人気のスポットであることが分かります。

渡邊さんによると、この場所が三春ハーブガーデンだった頃から度々通っているとのこと、来るたびに新たな発見があると…。元は醤油工場だった建物を改修した施設などに、レストラン、コーヒーショップ、食品・雑貨以外にも様々なお店が入っています。滝桜だけ見て帰るのはもったいない！三春町には魅力的なエリアが沢山あることを再認識することができました。



⑤ 大町道標(郡山市)

歴史のわだち2か所目は「大町道標」です。二股に分かれる道路の分岐点に二本の道標があります。右側の石碑は江戸時代に建てられた、三春道への分岐を示す道標で「従是(これより)三春道」と記されています。左側の石碑は、会津街道への分岐を示す道標で「右奥州街道 左会津街道」と記されています。



県中地方は福島県の中央部に位置し、自然の美しさや歴史的な魅力が詰まった地域であり、温泉施設やお花の名所など様々な観光スポットやグルメが楽しめます。今回は日常から少し離れてホッとひと息つける時間ができればと思い、おすすめのお店をご紹介します。ぜひ、県中地方に足を運んでいただけたら幸いです。

御限定の
御朱印！



⑥ 高松山初寅祭(本宮市)

県中地方を訪ねる旅の締めくくりは本宮市の高松山観音寺です。このお寺は大同2年(807年)徳一大師によって開基された名刹です。トラがつくものエトセトラということで、今回、このお寺の「初寅大祭」を訪れました。これは毘沙門天のお祭り、一年で一番御利益があるといわれる旧正月の寅の日に開催されるものです。多くの参拝者が見守るなか、お焚き上げの炎の周りを青年裸神輿が回り、そのお神輿から投げられる梵天を手にした者には福が訪れるといわれています。

残念ながら梵天を手にはできませんでしたが、この日限定の御朱印をいただきました。



今回の女子トラ

(株)和起 渡邊里美さん

SDGsへの取り組み



トラックの森

平成29年度から、東日本大震災からの復興に向けて相馬市磯部地区の海岸防災林の再生を目的として、植樹活動を行いました。

節水・節電

こまめに水道や電気・PC画面を消すことを心がけています。ゼロカーボン宣言…



電気・水道見える化（毎月前年比をデータ化して意識付け）ツールを利用しています。



マイボトル・マイカップ

マイボトル・マイカップを使用して、ゴミの削減を心がけています。

クールビズウォームビズ

クールビズ、ウォームビズを取り入れ、空調設備の使用に必要なエネルギーを節約し、地球温暖化の進行をおさえようと心がけています。



日用品を使い切る

消耗品は、詰め替え用を使い、ゴミの削減に心がけています。



笑顔も、希望も、やりがいも横で。

ひとりひとりが
未来のために



CO2削減につながる助成事業

アイドリングストップ支援機器の導入・ポスト新長期規制適合車の導入・環境対応車（天然ガス、ハイブリッド、電気、燃料電池トラック）の導入・エコタイヤの導入などCO2削減につながるさまざまな取り組みに対する助成事業を行っています。



ヘルシーお弁当レシピ企画

健康を意識したお弁当レシピの提案をし、健康促進に取り組んでいます。

りんご企画

りんごに含まれる効能に着目し、生活習慣病の予防等を考えた企画を行っています。

オリジナル紅茶企画

紅茶に含まれる効能に着目し、生活習慣病の予防等やリラックス効果を考えた企画を行っています。

予防接種

病気に対する免疫、感染症の発症を予防するため、毎年行っています。

セーフティチャレンジへの参加

無事故・無違反を目標に安全運転を心がけます。また、参加費の一部は県交通事故遺児奨学金に寄付しています。



地域の清掃活動

協賛スポーツチームを応援する広報活動などで、クリーンアクティビティと称して道路の清掃活動を行っています。



LED照明に変更

省エネ対策として消費電力を大幅に削減し、CO2排出量削減による地球温暖化防止に貢献します。



フードロス、子ども食堂への参加

自宅などで消費しきれない食材や物品など、子ども食堂で必要な資源を寄付することで、活動を支援しています。



交通遺児募金・寄付

交通遺児の健全育成のため県交通遺児奨学基金協会へ寄付・募金を行っています。



災害対策

県や市町村と緊急物資輸送等の協定を結んでいます。また、事務所では災害対策として防災セットを常備しています。



講習会

健康管理セミナー、事故防止講習会、改善基準告示解説セミナー等の様々な講習会やセミナーを定期的に開催しています。



セクハラ対策（ハラスメント講習会の実施）

セクハラ対策としてハラスメント講習会を実施しています。

男女育休取得

男女育休取得を積極的に行っています。

事務所の清掃男女参加

男女関係なく積極的に事務所の清掃活動を行っています。





陸災防NEWS

今月のお知らせ

第2回「安全衛生レベルアップ支援事業」集合研修会を開催

開催日 令和7年1月21日(火)

場 所 福島市 福島県トラック協会福島研修センター

参加者 会員5事業場 10名

陸災防福島県支部は、第2回「安全衛生レベルアップ支援事業」研修会を開催した。

研修会は、各事業場がこれまで取り組んできた仕組み作りの中間評価を行った後、陸災防本部の今井安全管理士を講師として、労働災害防止のための手法である「リスクアセスメント」の具体的な取り組み方法について学んだ。

今回の研修会では、参加事業場の職場リーダーも加え、グループによる演習を含めて熱心な討議とグループごとの成果発表を行い、職場におけるリスクアセスメントの取り組みが如何に重要かを認識し、更なる安全に関するレベルアップを誓いあった。



「荷役作業安全ガイドライン説明会」を開催

開催日 令和7年2月5日(水)

場 所 郡山市 福島県トラック協会県中研修センター

参加者 16事業者 26名(荷主事業者対象)



陸災防福島県支部は、「荷役作業安全ガイドライン説明会」を初開催した。

陸上貨物運送事業の労働災害の約7割がトラックの荷台等からの墜落・転落等の荷役作業中に発生しており、そのうちの約7割が荷主等(荷主、配送先、元請事業者等)の事業場で発生している。

厚生労働省では平成25年3月に「陸上貨物運送事業における荷役作業の安全対策ガイドライン」を策定し陸運事業者及び荷主等それぞれの実施事項が示された。

今回は荷主事業者を対象に16事業者26名の参加により、陸災防本部の今井安全管理士を講師として説明会を行い、本ガイドラインの令和5年3月の改正時に追加されたテールゲートやロールボックスパレットも含めて学んだ。



#女子トラ走る

りんごを活用した
広報企画

その後

2024.9.7



りんごの木3〜4本に遮光ロゴシール貼り

福島市のすずき果樹園さんのシナノスイート、約180個に女子トラキャンペーンの遮光ロゴシールをひとつずつ貼りました！

女子トラキャンペーン
ロゴシール

2024.11.2

色づいたりんごをひとつずつ収穫

真っ赤に色づいたシナノスイートを丁寧に収穫。
女子トラキャンペーンロゴがくっきり！

収穫後は

ジャム加工のため
岡山県へ！

ただいまー！

いってらっしゃーい！

ジャム完成



ジャジャーン！

無添加手づくりオリジナルジャム！

完成した無添加手づくりオリジナルジャムは…

試食会



試食会後はイベントやセミナーを通じて多くの方へ配布しました！

昨年12月に行われた
県ト協スペシャルマッチ、福島ファイヤーボンズの
試合会場で抽選にてプレゼントしました！収穫に参加して
くださった
伊達貨物運送(株)
相馬さん

会員事業者・従業員の皆さま

福島県トラック協会では、運送業界のイメージアップのためのイベント企画と一緒に活動いただける方を募集しております。

楽しいことが好きな方！イベントが好きの方！一緒に企画する事が好きな方！お待ちしております。

質問や疑問がございましたら担当までお気軽にお問い合わせください。

担 当 業務部 佐藤・矢吹



編集後記

年が明けて1月から2月は、セミナー・講習会関係や青年部会、女性部会との親睦等に多くの皆様に関わらせていただき、本当にありがとうございました。物流セミナーでは、ichinoichi coffee様にご協力いただき、ビッグパレットふくしまの会場の裏側で、協会オリジナルコーヒー等を約200杯作っていただきました。会場内が香りに包まれるだけではなく、会場外まで香りが届き、ビッグパレットふくしまの職員の方にも良いコーヒーの香りがしましたと報告いただくほどでした。

春に向け、花粉症の鼻づまりでコーヒーの香りを感じれなくなる苦しい時期になってきますので、花粉症の方は一緒にがんばりましょう。

菅野



3月の頭には開催された、私が住む地域のお祭り「つつこ引き祭り」に足を運びました。今年はメインの商店街を使わず、規模を縮小しての実施。時代に合わせた判断とはいえ、やはり少し寂しさを感じます。こうした地域の伝統行事も、担い手不足が課題。若い世代が「大変そう」と感じてしまうと、なかなか参加が広がりません。トラック業界も同じで、「キツイ」「長時間労働」というイメージが先行すると、新しい担い手が増えにくくなります。実際にどのくらいの負担があるのか、どうすれば無理なく参加できるのか、わかりやすく伝えなければならないと思いました。地域の祭りも、業界も、うまく時代に合わせながら続けていく。そのヒントが、きっとあるはずだと。

佐藤



あつという間に今年度も終わりですね。春はご卒業やご入学、新社会人、心機一転される方もいるかと思いますが、これからのキラキラした活躍が楽しみです。そして春の出会いもワクワクします。

私も何か…。以前は走っていた時期もありましたが、しばらく休憩していたので、またマイペースに走ってみようかなと思っています。

矢吹



トラック広報 わだち3月号（通巻518号）

2025年3月1日発行（2ヶ月毎に1回）

編集発行

公益社団法人 福島県トラック協会
〒960-0231 福島市飯坂町平野字若狭小屋32
TEL 024-558-7755代 FAX 024-558-7731
HP <http://fukutora.lat37n.com/>

